

武雄市立武雄中学校学校便り

叶武



NO. 17 令和2年12月24日
〒843-0024
武雄市武雄町大字富岡11606番地
TEL 0954-22-4105
文責 校長 熊野辰未

学校教育目標 「高い志と誇りを持ち、心豊かで輝く生徒の育成」

《明日から冬休み》

今年もあと一週間となりました。学校は、明日から1月7日までの14日間の休みに入ります。例年のない暖かい12月の前半でしたが、先週から気温も下がり寒さも増したように思います。体調を崩さないようにしたいものです。冬休み前の全校集会を学年集会に変えて行わなかったのが、生徒の皆さんに伝えたいと思っていた話を掲載します。

みなさんは、本当にすばらしいと思います。また、誇りに思います。12月2日の人権集会の折の表彰報告も含め、数多くの個人、団体の表彰ありがとうございます。特に、ソフトボール部は、11月8日に行われた佐賀県中学生新人ソフトボール大会において準優勝に輝き、令和3年3月20日～21日に鹿児島県で行われる全九州中学生選抜ソフトボール大会に出場する予定です。また、12月6日の佐賀新聞でも紹介がなされていましたが、JA主催の第45回「わたしたちのくらしと農業」作文・図画コンクールで県知事賞に2年の岸川航大さん、NHK佐賀放送局局長賞に2年生の納富海心さん、佐賀新聞社社長賞に2年の岡健太さん、佐賀テレビ社長賞に2年の松尾孝祐さん、佳作に3年の山口友輝さん、2年の山口杏奈さんと6名の生徒が入賞し、学校奨励賞に輝きました。さらに、サッカー部は、杵武伊西地区サッカーリーグで優勝。2年生の小野敦史さんと諸江開成さんの2人は、第53回受信環境クリーン図案コンクールで入選。2年生の池田美結さんは、博愛フェスタ2020全国博愛絵画展において秀作。3年生の米松友莉さんは、交通安全デザインコンテストイラストレーションマグネットの部で優秀賞に輝きました。みなさんよくがんばりました。あらためてみなさんに拍手を送ります。

さて、みなさんの二学期前半の充実度はどうだったでしょうか。

二学期の始業式で、みなさんに期待していることを話しました。覚えていますか。それは、まず一人一人が心をつにして体育大会や生徒会会長選挙などの学校行事を成功させ、「いいこといっぱいありの武雄中学校」の実現を期待します。そして学級や学年の絆を強め一人一人が大きく成長することを願っています。さらに、今の学級は、学習内容をきちんと学ぶこと、進路を考え選んでいくこと、将来社会人として必要な力を身につけることなど、目的を持った集団であり、目的実現のために一人一人が役割を分担してみんなのためになることを行い、助け合い、協力し合い、励まし合い、支え合い、集団の力を高

め、一人一人が成長する事を望みますと話しました。みなさん、実行できましたか。

2つ目は、家族や周りの人に「感謝」することを忘れないようにということでした。「ありがとう」と言えましたか。

楽しかったこと、いやだったこと、笑ったこと、悲しかったこと、涙したこともあったと思います。そしてがんばったこと、うまくいったこと、できなかったこと、指導を受けたこと、一つ一つのことがみなさんの成長につながっていると信じます。

明日から14日間の冬休みに入ります。年末年始は、日本の伝統文化である行事があります。みなさんの家庭においても、それぞれ新年を迎えるための行事があると思いますが、ぜひ、みなさんも家族の一員として大掃除など協力して新年を迎えてほしいと思います。「一年の計は元旦にあり」と言われます。新たな年の元日の朝に新たな年の目標を立てることがその年の充実度を左右することになります。

目標を立て、その実現のために努力することが大切です。努力して自信と誇りが持てるようになると人として強くなります。たとえ、その自信と誇りが、自分の勘違いだったとしても、生きる力を与えてくれるはずです。「自信と誇りに勝る武器はなし」と言われます。がんばりましょう。

ところで、去年も伝えましたが、みなさんは、小林正観さんの「そ・わ・かの法則」というものを知っていますか。

「そ」は、掃除のことです。

掃除をすることでお金、仕事に困らなくなるようです。特に、トイレや風呂、流しなどの水周りを綺麗にすると神様の応援も得られお金も入るようです。水周りは「流れている」ことがポイントになります。自分に溜まっている、「執着」「我欲」「こだわり」を流して、エネルギーが入ってくるようにもなります。これから毎日の掃除をしっかりとお年玉をたくさんもらえるかもしれません。

「わ」は、笑いのことです。

笑うことで、様々な遺伝子がオンになるようです。笑うことで免疫力も高まるという報告もあるようです。笑いは肯定することにもなるようです。周りの現象を肯定することになる。明るく、楽しい人には、明るく、楽しい現象が降ってくるようです。

「か」は、感謝のことです。

今の状況を謙虚に受け入れ、感謝をすることで、多くの友人や知人、神様や仏様を味方にする事ができるようです。「ありがとう」と言うことで、もう一度「ありがとう」を言いたくなる現象が起きるようです。

まとめると、

掃除 ⇒ お金と仕事に困らない。

笑い ⇒ 病気にならない。

感謝 ⇒ 人間関係に困らない。

小林正観さんが、長年「神さまが、人間の為す行為の中で、好きなものはどんなものだろう？」と思い、調べていたところ行き着いたのがこの「そ・わ・か」の3文字でした。

神さまの好きな人間の行いベストスリー、

「そ」―掃除、「わ」―笑い、「か」―感謝。この「そ・わ・か」を続けている人は神さまに味方され、応援をされているようです。

最後に「死ぬな」ということです。自ら命を絶つことは絶対にあってはならないし、自分だけの命ではないということ。人は生きるために生まれてきたのです。みなさんは、社会の中で何かの役割を持つために生まれてきたのです。一人一人に使命があるはず。死んではいけません。かけがえのない命です。

2017年7月18日に105歳で亡くなられた日野原重明医師は「命とは自分に与えられた時間だ」と話されていました。

今のみなさんの命は、お父さん、お母さんの2人からのものです。

お父さんとお母さんのそれぞれの両親で4人、そのまたそれぞれの両親で8人、10代前では、1024人、20代前は？計算すると104万8576人になります。このようにたくさんの方がいて、みなさんが、今、生きているのです。だから「精一杯生きるということ」は、自分のことを自分の時間を大事にするということです。

「どうせ私なんかどうでもいいから・・・」という言葉は、自分を大事にしていない言葉です。みなさんが生まれたときは、家族みんなが、幸せな気持ちになりました。みなさんが、元気でいてくれることが家族にとって一番の幸せなのです。それに応えるには、自分を大事にすること。そして自分の命も周りの人の命も大切にすることです。

みなさん、事件事故に遭うことがないように、体調を崩さないように心がけてもらいたいと思います。

1月8日には新しい年の希望を胸に、すがすがしい気持ちでスタートができることを期待します。また、3年生にとっては、県内私立の前期試験日（1月21日）まで明日から28日、卒業式の日（3月5日）まで71日です。3年生のがんばりを心からお祈りし、応援しています。

《感染症の予防を》

12月10日の「ほけんだより」で新型コロナ感染症、インフルエンザ予防のための方法をお知らせしています。「かせきおいてけ」で守ろう、みんなの健康。予防には、ウイルスを洗い流す手洗いが重要で効果があるようです。マスク着用。そして、3つの密を避けること。自分のからだを守ることを優先してもらいたいと思います。特に、3年生は受験を控えています。十分に予防対策をしてもらいたいと思います。

また、冬季休業中に新型コロナ感染症、インフルエンザ、麻疹（はしか）、風疹に感染した場合は、学校まで連絡をお願いします。もし12月29日から1月3日の期間でありましたら、冬休み明けで結構ですので学校に連絡をお願いします。発熱し疑いがあり病院を受診するときは、マスクの着用をお願いします。外出し帰宅したときは、手洗い、うがいを必ず行い、感染予防に努めてもらいたいと思います。